



特定非営利活動法人 Arts Planet Plan from IGA

アトリエニュース

〒518-0205 三重県伊賀市伊勢路字青山1381-77 Tel (186-)0595-53-1077



[2010.12.18発行 編集担当:石津 勝]

いよいよ2010年も残りわずか。1年間を振り返る頃となりました(振り返る間もなくバタバタしているという声も聞こえて来そうですが…)。今年は皆様にはどんな年だったのでしょうか? 今号では、9月に開催された'10「風と土のかたち」展と「風と土のふれあい芸術祭」、第2回及び第3回実技講習会、11月の研修旅行などを中心にお届けします。

'10「風と土のかたち」展の報告



和室の木工芸や染織など



地元同好会制作の木工芸や陶芸など



大きな平面及び立体作品



木や土の立体作品

2010年9月19日から26日までの平日を除く5日間、今回で3回目となる旧矢持小学校校舎を会場にして、出品者65人、作品点数約120余点の充実した展覧会を開催することができました。伊賀上野ケーブルテレビ、アドバンスコープケーブルテレビ、朝日新聞、読売新聞、中日新聞等にも報道・掲載され、遠くは京都や大阪など、遠方からの方々も含め、地元の伊賀市や名張市からも多数のご来場を頂きました。おおよそですが、約300人以上の来場者があったと思います。

会場の様子は、廊下には糸を使ったインスタレーション、和室では部屋の雰囲気にあわせた木工や陶芸などの工芸作品、三つの普通教室では矢持地区同好会の陶芸や木工、伊賀地域在住の作家や本法人会員の力作揃いの絵画や彫刻、他にも過去の「Artist in Residence at IGA」の参加作家、学生ボランティアや各種講座の講師や協力者の方々の素敵な作品が並べられ、例年より盛大な展覧会となりました。

また今年も、名称も新たになった「風と土のふれあい芸術祭-Artist in Residence at IGA 2010-」の招聘作家二名の方の作品をそれぞれ図工室と音楽室とに展示することができ、また違った展覧会の可能性を見つけることができました。

恒例となった参加者自身が各々の作品を紹介するギャラリートークや交流会を兼ねたオープニングパーティでは、気軽な意見交換を通じて、作品制作についての意図や工夫した点など、貴重な話も伺うことができ、「ものづくり」の心でつながった者同士の共感や新たな制作意欲を得たように思います。

また、地元の「家具の音楽」による敬老の日ワークショップ、法人主催のフェルトやステンドグラスの造形体験コーナー、ジャムナイフ制作とブルーベリージャム作りの実技講習会や「照々庵」のお茶席などもあり、来場者に大変好評でした。

開催にあたっての準備などの労は多いけれども、今後も、今までの経験を活かしつつ、より充実した展覧会にできればと願っています。その節は、是非、引き続きご出品ご参加して頂きたいお願い致します。(「風と土のかたち」展担当:石津 勝)



招聘作家:黒川氏の立体作品



堀氏作品「にじをうつす」

「風と土のふれあい芸術祭-Artist in Residence at IGA 2010-」を終えて

作りたいものがある。それを作るには何が必要なのか。素材、道具、技術が必要だ。今回のレジデンスに参加して感じたのは素材・道具・技術という三つの要素が揃わなければ作品が成立しないということでした。確かに何も無いところから何か(作品とでも言うておこう。)を創り出すということは面白いかもしれない。

だがしかし、それは本当に良い作品なのか。ここでしかできない表現と言えば聞こえは良いが、自分の作品を作る上でのコンセプトをすり合わせてまで限定感を持たせるべきなのか。作品制作の上で様々な葛藤がありました。

まあ、しんどいことばかりでなく作る楽しみも改めて感じることができました。何も無いから作れないと諦めず、工夫を凝らして作り上げる。いつもと全く逆で新鮮でした。

期間が短く、あまり滞在していたという気分ではなかったのですが、面白い経験が積めたように思います。

(招聘作家:堀 健)

第2回実技講習会「木工芸/ジャムナイフ制作とブルーベリージャム作り」

今回は「10『風と土のかたち』展を開催中の矢持地区市民センター（旧矢持小学校）を会場に、会員・一般の方、講師の方々と併せて16名の参加で行いました。まず、午前中は会場近くの地元の「四季の森『やもち』ゆめ倶楽部」の方々が栽培されている畑でブルーベリーの摘み取りをしました。その後、会場調理室に戻り、『やもち』会員の菊田きぬ子氏、森地さく氏にご指導いただき、ジャムづくりをしました。甘くておいしい匂いが漂い、おもわず味見をする方も！？

午後からは、講師がかわり、スプーン型（かや）を主宰される長岡かや氏にご指導いただき、こちらも地元から提供いただいたサク材で銘々のジャムナイフを制作しました。最後は出来上がったジャムを皆さんで試食。持ち帰り用ジャムも一人2瓶あり、おいしさと嬉しさと笑顔の輪が広がって、大満足の1日となりました。（第2回実技講習会担当：田井 佳



畑でのブルーベリーの摘み取り



調理室でのジャム作り



ジャムナイフの制作開始



ジャムナイフ完成作品

2010年度研修旅行を終えて

今年度の研修旅行は、2010年11月6日（土）、7日（日）の1泊2日の日程で、6名の参加で実施致しました。6日朝9時集合・出発、浜名湖ICにて昼食をとり、午後、浜松市立秋野不矩美術館にて、秋野不矩、梶原緋佐子、北澤映月の女流三作家の作品展を鑑賞しました。晩年の作品にもバイタリティー溢れるものを感じました。その後、猿投温泉の宿舎へ向かい豪華な夕食・温泉を楽しみ、例年どおり懇親会も和やかに行われました。

7日午前中は愛知県陶磁資料館を、学芸員の大長智広氏の案内・解説を受けながら見学しました。その資料（陶磁器類）の数は驚くほどの多さで、世界各地・各時代のものが集められ展示されていました。展示物の多さに負けぬ、大長氏の見識の深さにも感嘆致しました。お忙しいにもかかわらず、丁寧にご案内くださった、大長氏に感謝致します。7日午後は愛知県瀬戸市赤津町の窯元を寺田鉄平・久乃氏の案内で見学しました。赤津でとれる土で作陶、長年受け継がれた技法や釉薬により仕上げられた器の数々は、私たちの目を楽しませてくれました。

このように1泊2日ではありますが、例年の如く、内容の濃い研修旅行ができました。何事もなく無事に終わりましたのも、皆様のご協力と大長氏や寺田氏のご好意のおかげです。1泊2日の間、安全運転にご尽力頂いた石津氏に深く感謝致します。どうもありがとうございました。（研修旅行担当：藤田 邦子）



陶磁資料館前で大長さんと撮影



寺田さんの工房で集合写真

第3回実技講習会「陶芸/蕎麦猪口の絵付けと蕎麦打ち」



真剣に絵付けする姿

11月20日（土）、いつもお世話になっている陶芸家・余部一郎氏に講師をお願いし、大阪市福島区の古民家を改装されたアトリエにて、蕎麦猪口の絵付け講習会を開催して頂きました。

総勢14名の参加でアトリエ内は一杯になりましたが、丁寧な余部先生の指導のもと、集中しながら一人3個の蕎麦猪口と箸置きに絵付けを楽しく行なうことができました。曲面の器に筆を使い絵柄を描いていくのは、思いの外難しく、皆の姿はまるで黙々と写経をする修行僧のような姿でした。

これから1月末頃に焼成して頂き、2月以降に完成作品で蕎麦を食すという食事会を開く予定です。もうしばらくお待ちください。また、食事会への参加も大歓迎です。（第3回実技講習会担当：石津 勝）



呉須の濃淡での絵付け

会費納入のお願い & 皆さまのご意見お待ちしております！

★ 年度末が近づいています。恐縮ではございますが、会員の皆様の中で未だ入金されていない方は年会費の納入をお願いします。

郵便口座：00890-1-106346 NPOアーツプラネットプランフロムイガ

「ゆうちょ銀行」で直接お振り込みいただく場合には、すでに送付済みの振込用紙をご使用いただくか、上記の口座にお振り込みをお願いします。また、「ゆうちょ銀行」へ他の金融機関より振り込みができるようになりましたので、その場合は下記の口座にお振り込みください。よろしくお祈りします。

ゆうちょ銀行 金融機関コード 9900 店番 089 店名 O八九店（ゼロハチキユウ店）

当座 0106346 アーツプラネットプランフロムイガ